

『民法債権法改正』の契約実務への影響/AI・IT・知財関連条項の交渉ポイントも踏まえた

ビジネス契約実務入門

～講師著『初めての人のための契約書の実務（第2版）』（中央経済社）をテキストとして配布します～

※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせていただきます。

《開催要領》

日時▶ 2018年 2月 2日（金） 13:00～17:00

会場▶ 企業研究会セミナールーム（東京：麹町）

《開催にあたって》

法務部以外の部署の方も契約の仕事が任されるケースが増えています。契約書の専門家でなくても、押さえておくべき基礎知識やリスク対応について予め理解しておくべきです。本セミナーでは、契約書を専門としない方にもご理解頂けるように、初心者向けに（今さら人には聞けない）「契約書の基礎中の基礎」を分かり易く解説いたします。平成29年度通常国会で成立し今後施行される予定である「民法債権法改正」の契約実務への影響と、最近増加しているAI・IT関連条項、知財関連の条項（権利の帰属、保証、免責、責任制限等）も最小限知っていただきたいポイントをご説明します。もちろん法務部門のみなさんも契約書実務を基礎から確認できますので奮ってご参加ください。

講師 芝総合法律事務所 弁護士（日本国及び米国ミシガン州）・弁理士 牧野和夫 氏



1981年早稲田大学法学部卒。いすゞ自動車（株）入社。General Motors Institute 経営管理課程修了。ジョージタウン大学ロースクール法学修士号。1992年米国ミシガン州弁護士登録。1981年～1997年いすゞ自動車（株）課長・審議役。1997年～2000年アップルコンピュータ（株）法務部長。2000年～芝総合法律事務所顧問、2001年～2004年内閣司法制度改革推進本部法曹養成検討会委員。尚美学院大学大学院客員教授、早稲田大学大学院、関西学院大学大学院、関西学院大学商学部・法学部、明治学院大学法学部、駒澤大学法学部の各兼任講師を経て現職。法律英語や英文契約書に関する著書多数。

《申込方法》当会ホームページ（https://www.bri.or.jp）からお申し込み下さい。

企業研究会Q 検索

■受講料：1名（税込・資料代含） ※申込書をFAXでご送信いただく際は、ご使用のFAX機の使用状況（0発信の有無など）をご確認の上、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

正会員	34,560円（本体価格 32,000円）	一般	37,800円（本体価格 35,000円）
-----	-----------------------	----	-----------------------

171929-0303 ビジネス契約実務入門

ふりがな 会社名			
住所			
TEL	FAX		
ふりがな ご氏名	所 役 職		
E-mail			

※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

■申込・参加要領：当会ホームページからお申込みください。FAX、または下記担当者宛E-mailからもお申込み頂けます。

後日（開催日1週間～10日前まで）受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問（FAQ）は当会HPにてご確認ください。〔TOP〕→〔公開セミナー〕→〔よくあるご質問〕

※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先：企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/民秋・川守田 E-mail: tamiaki@bri.or.jp

TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 麹町M-SQUARE 2F

・プログラム・

1. 契約書の意味 ～失敗例と成功例

(1) 契約書は単なる形式ではない

・会社の戦略や意志が染み込んでいる ・いざというときに契約書の内容が重要になる

(2) 契約書を締結しておらず後悔した例

(3) 契約書の規定のおかげで損害を回避することができた例

2. 契約書の基礎知識

(1) 契約とは何か

(2) 契約の成立要件はなにか

(3) なぜ契約を締結するのか

(4) 契約と法律の関係（契約書に書いていなくても法律の規定が適用される）

(5) 契約書のタイプ～「交渉型」と「約款型」（民法改正で定型約款の規定ができる）

(6) 契約書の分類～基本契約書、個別契約書、覚書など

(7) 契約締結者として誰が適切か

(8) 契約書と印鑑

(9) 契約書の製本・袋とじ

(10) 印紙税の知識

3. 契約書の重要表現と一般条項

(1) 慣用表現と文例

(2) 一般条項の解説 ～不可抗力、残存条項、解除権、契約譲渡の禁止、裁判管轄

4. 民法改正の実務への影響 ～定型約款のルールを中心に

5. 各種関連契約書の重要ポイントの解説と交渉方法

(1) 秘密保持契約

(2) 売買契約

(3) 購買契約

(4) 販売代理店契約

(5) ライセンス契約

・ソフトウェア・ライセンス契約のポイント（ドラフトする際の思想を知ることでより深く理解する）

・特許ライセンス契約のポイント ～ライセンス料の種類と規定の仕方

・権利の瑕疵と権利侵害

・ライセンス契約と独占禁止法の適用

・知財関連条項のポイント（権利の帰属、保証、免責、責任制限等）

6. A I 関連条項の交渉のポイント

※最少催行人数に満たない場合、開催中止となる場合があります。

裏面もご覧下さい！ 一枚のパンフレットで 2種類のセミナーをご案内しております。